

交通安全啓発事業

[575]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0101	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	交通安全意識の高揚	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	地域住民、歩行者、運転者、小学生、保育園児等	平成29年度啓発活動実績 ・幼稚園、保育園、児童館、小学校交通安全教室(25か所 2,475人) ・スケアード・ストレイト体験型自転車交通安全教室(渋川小学校213人 城山小学校368人) ・高齢者交通安全教室(5回、169人) ・体験型交通安全教室(おやこ交通安全教室27人、シルバー人材センター23人、ドライビングクリニック2回23人)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	交通安全に関する出前講座(3回、89人) ・交通安全運動期間における交通安全キャンペーン(横断事故防止キャンペーン、自転車利用生徒へ安全啓発、飲酒運転根絶、シートベルトチャイルドシート着用等 14回1,776人) ・高齢者への運転免許自主返納の支援(あさぴーバス回数券交付161人) ・交通安全街頭監視活動(交通死亡事故ゼロの日、県下一斉大監視 24回280人) ・交通安全少年団啓発活動補助(9回124人) ・健康フェスタ・市民祭において、交通安全コーナーの開設(620人)
	交通安全啓発活動を実施することにより、市民一人ひとりが交通ルールを遵守している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	開催回数	回	85	77	70	88
成果指標	参加者数	人	3,937	5,599	4,600	6,348
事業費 計			2,163	1,948	2,150	2,105
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,163	1,948	2,150

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調	(状況)交通安全啓発の参加者は昨年に比べ、749人増え順調に推移している。 (原因)各季交通安全市民運動や出前講座など、啓発活動数が増えるとともに、交通安全に関心を持つ市民が増えたためと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が大きい	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通安全活動団体支援事業

[578]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0201	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	市民参加の交通安全活動の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	交通安全活動団体	行政、警察、交通安全活動団体が一体となって、交通安全街頭監視ならびに交通安全啓発活動(スーパー店頭、駅前等街頭での交通安全の呼びかけ、啓発物品の配布、各種路上キャンペーン等)を行う。 【交通安全少年団】 主に小3~小6で構成されており、自由参加で交通安全学習会、市の交通安全キャンペーン等へ参加している。なお、21年度より交通少年団経験者の中学生、高校生をリーダー役として団員の指導をしてもらうこととした。 【守山尾張旭交通安全協会】(平成19年度より補助金の拠出を取りやめた。) 守山署が事務局で、四半期ごとに交通安全運動に参加している。 【守山尾張旭交通安全推進協議会】(平成18年度より補助金の拠出を取りやめた。) 守山署が事務局で、ボランティアで交差点での街頭監視等を実施している委員で構成されている。 【交通安全尾張旭サポート】 市内在住の交通安全活動に賛同するサポーターで組織され、市民の交通安全の意識高揚と交通事故の撲滅を目的に街頭監視を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	補助金額	千円	100	90	100	100
成果指標	交通安全市民団体の会員数	人	204	219	250	221
事業費 計			100	170	100	100
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		100	170	100	100

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(現状)交通安全市民団体の会員数は昨年度と比べ2人増加している。 (原因)各種団体の活動が広く周知され、交通安全に関心を持つ市民が増えたと考えられる。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

放置自動車撤去事業

[579]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0301	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	長期路上放置自動車	長期路上放置自動車を発見後、警告書貼り付け、警察署への廃棄物認定協議、廃棄物認定等の手順により放置自動車を処理する。
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
路上に自動車が放置されていない。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	路上放置処理対象自動車台数	台	0	0	3	0
成果指標	路上放置撤去自動車台数	台	0	0	0	0
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上 (最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(現状) 路上放置撤去自動車台数は近年 0 台を推移している。 (原因) 守山警察署と連携をし、違法駐車や路上駐車等に対するパトロールを行った結果と考えられる。</p>
--------	--	---

H29年度実施取組方針 (H28年度本部結論) の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

あんしん歩行エリア整備事業

[582]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0303	実施計画	対象
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	エリア内の市が管理する道路 エリア内の道路利用者	印場・瑞鳳地区 約143ha 平成15年度 あんしん歩行エリアの地域指定 事業計画の策定 平成16年度～ 工事実施 平成22年度 事業完了
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	三郷地区 約11ha 平成22年度 整備プランを策定 平成23年度～ 工事実施 平成28年度 事業完了予定
	側溝の有蓋化などにより、安全な歩行空間が確保できている。	三郷南側地域 平成28年度 整備プラン策定予定 平成29年度～ 工事実施予定

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	整備延長(m)	m	73	73	160	84
成果指標	整備率(%)	%	69	100	9	5
	人身事故発生件数	件	5	3	10	10
事業費 計			6,009	5,274	7,000	3,966
財源内訳		ア 国	2,750	2,475	3,300	1,650
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	3,259	2,799	3,700	2,316

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)整備率は昨年度実績と比べ95.0%低下していますが、整備地区が新しくなったためです。 (原因)実績値は計画値と比べ4%低下していますが、交付金の補助率が低下し事業を縮小したためです。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通安全施設維持管理補修事業

[580]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0306	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者 市の管理する道路上にある交通安全施設 (公安委員会管理施設除く)	市民(道路利用者)からの通報及び日常パトロール(道路照明灯点検は夜間パトロール)により発見された生活道路上の安全施設(道路照明灯、防護柵、道路反射鏡等)の破損箇所等に対し、適切な補修を行う。 ・材料を購入し、市作業員により施行する。 ・請負業者により施行する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全な道路環境を保全し、道路利用者が交通事故に遭遇しないようになっている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	維持補修を実施した箇所数	箇所	213	192	160	147	
	苦情・要望により処理した件数	件	213	192	160	147	
成果指標	交通事故発生件数	件	343	330	320	369	
	交通事故発生減少件数	件	53	13	10	-39	
事業費 計			21,602	18,460	28,730	25,756	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他				8,000	6,706
		オ 一般		21,602	18,460	20,730	19,050

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)交通事故発生件数は昨年度実績と比べ11.8%低下し、発生事故件数が39件増加しています。 (原因)交通事故発生件数は近年減少していましたが、今回は大きく増加している状況があり、発生状況を監視する必要があります。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	道路照明灯のLED化を検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
H29年度に道路照明灯のLED化を図りました。			

交通安全施設整備事業

[581]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0307	実施計画
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	<p>下記箇所から整備の必要箇所を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民等からの要望箇所 ・事故発生箇所 ・市の道路パトロール等で整備必要と判断した箇所 <p>現場を調査し、安全対策を検討する。 必要に応じ警察と協議する。 道路安全施設整備工事を設計する。 工事を実施する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・H20年度 交差点のカラー化を実施(狩宿橋、印場橋北、庄中町北) ・H22・23年度 路肩のカラー化(通学路)を実施 ・H23年度 交差点のカラー化を実施(国道363号 南新町中畑) ・H27年度 交差点のカラー化を実施(稲葉町)
	道路の交通安全環境が良好に整備され、利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路になっている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	道路の安全施設整備箇所数	箇所	17	24	20	19
成果指標	交通事故発生件数	件	343	330	320	369
	交通事故発生減少件数	件	53	13	10	-39
事業費 計			26,205	17,270	17,300	17,231
財源内訳		ア 国	4,400			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	21,805	17,270	17,300	17,231

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況)交通事故発生件数は昨年度実績と比べ11.8%低下しており、交通事故発生件数が36件増加しています。 (原因)交通事故発生件数は近年減少していましたが、今回は大きく増加している状況があり、発生状況を監視する必要があります。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

南栄3号線整備事業

[1229]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0308	実施計画	対象
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市道南栄3号線の利用者	H25 道路計画検討委託 県など関係機関との調整 全体整備計画策定(H26~H30)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H26 道路詳細設計委託 愛知用水など関係機関との協議 H27~31 道路整備工事 H29 進入路整備設計委託
	歩道が拡幅され連続性が確保されている。 車道の屈曲部が解消され円滑な通行ができる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	道路整備延長(m)	m	88	110	80	76	
成果指標	整備率(事業費ベース)(%)	%	9	30	54	53	
事業費計			12,996	37,948	44,000	34,819	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	5,400	17,800	20,900	17,138
		ウ 地方債			16,700	19,000	15,000
		エ その他					
		オ 一般		7,596	3,448	4,100	2,681

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	尾張農林水産事務所による新池耐震工事が廃止されるなどの環境変化があったが、南栄3号線を整備するために、関係機関と協議しながら事業を進めている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	地元や長久手市、愛知用水と情報共有を図りながら、円滑に事業を進めます。 愛知県が同時期に実施する新池堤体の耐震工事と連携し、効率的に事業を進めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	尾張農林水産事務所による新池耐震工事が廃止されるなどの環境変化があったが、南栄3号線を整備するために、関係機関と協議しながら事業を進めている。		

横断防止柵整備事業

[1249]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0310	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	幹線道路の中央分離帯に横断防止柵を設置する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H25～26 市道瀬戸新居線 H27～30 市道巡検道線
	幹線道路を横断する歩行者を減らし、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路になっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	横断防止柵整備延長(m)	m	139	116	216	274
成果指標	整備率(%)	%	53	58	80	71
事業費 計			2,363	1,493	5,300	2,974
財源内訳		ア 国	1,590	649	2,200	1,375
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	773	844	3,100	1,599

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 整備率は昨年度実績と比べ、13.0ポイント上昇しています。 (原因) 交付金の交付率は縮減されたが、市費により事業を推進したため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通災害共済事業

[577]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0901	実施計画
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)														
	市民	交通事故にあった市民に対し、入院・通院日数に応じて見舞金を支給する。 年会費 1人 500円(9月30日以後の加入は300円) <住民への周知方法> 2月末に申込書を郵送し、市または市内金融機関で各自申し込みを行う。 <共済の組織> 尾張市町交通災害共済組合(11団体)で行っている。 <共済事務として市が行っていること>														
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 加入申込書配布 加入金の確認と共済組合への振込み、補助分振込み 見舞金の申請受付と振込み <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H 2 6</td> <td>H 2 7</td> <td>H 2 8</td> <td>H 2 9</td> </tr> <tr> <td>共済会費納入額</td> <td>6,651,600円</td> <td>6,291,400円</td> <td>6,108,900円</td> <td>5,820,900円</td> </tr> <tr> <td>共済金支給額</td> <td>5,540,000円</td> <td>6,220,000円</td> <td>4,260,000円</td> <td>5,640,000円</td> </tr> </table> <p><その他> H30年2月20日の組合定例会において、H30年度をもって会員募集を終了し、組合の解散が決定。今後は地方自治法により解散に向けて事務を進めていく。</p>		H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	共済会費納入額	6,651,600円	6,291,400円	6,108,900円	5,820,900円	共済金支給額	5,540,000円	6,220,000円	4,260,000円
	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9												
共済会費納入額	6,651,600円	6,291,400円	6,108,900円	5,820,900円												
共済金支給額	5,540,000円	6,220,000円	4,260,000円	5,640,000円												

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	加入者数	人	12,608	12,243	12,600	11,667	
	見舞金申請受付件数	件	98	98	130	83	
成果指標	加入率	%	15.2	14.8	15.2	14.0	
事業費 計			1,363	1,391	1,410	1,402	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		377	366	378	349
		オ 一般		986	1,025	1,032	1,053

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況) 加入率は、昨年度実績と比べ、0.8ポイント低下しており、加入者が減少している。</p> <p>(原因) 設立当時と比べ現在は民間の多種・多様な保険が普及したため、加入者が減少したと考えられる。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-